

小売業界の商品画像データベース構築

～業界の波及拡大に向けて～



- 製・配・販での画像要求への個別対応及び工数の削減
- ロボット用画像整備によるロボット開発/導入の促進
- データ提供者の提供先拡大・探索容易化によるDB活用の波及
- 公的機関でのデータ連携基盤整備による社会インフラ構築

目指す将来像

● 製配販での画像取得の容易化

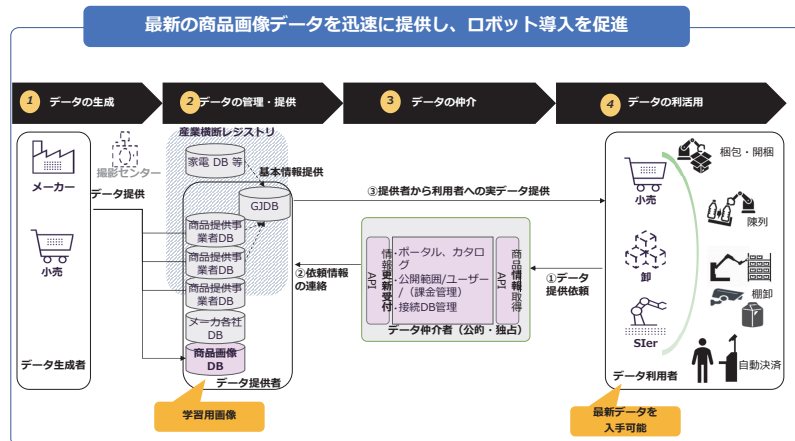
商品画像や商品情報をレジストリを介して1度で迅速に入手。

● 商品画像データ作成負荷の低減

360度画像撮像装置開発にて、手軽に高品質データを取得し、画像データを蓄積。

● データ提供者/利用者の拡大

データ連携基盤整備により、データベース事業者/利用者の繋がりを広げ、小売り業界全体でのデータ活用の更なる活発化。



実用化・事業化に向けた計画

本取組をもとに情報連携基盤とともにロボット活用に向けて早期のユースケースが見込まれるロボット認識用DBの社会実装を進めつつ、中長期的に動作DBも含めて情報連携基盤の連携先を拡張しロボットSier・メーカー・研究者に必要なデータを提供の方針です。

